

- 1 57年に奴国の使者が訪れ、金印を授けたとされる後漢の皇帝を何という？
① 桓霊 ② 献帝 ③ 文帝 ④ 光武帝
- 2 3世紀ごろの倭で、30ほどのクニをまとめた女王が治めたとされる国を何という？
① 狗奴国 ② 奴国 ③ 邪馬台国 ④ 伊都国
- 3 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、農具や武器として実用的に使われたものを何という？
① 土器 ② 鉄器 ③ 青銅器 ④ 石器
- 4 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？
① 魏志倭人伝 ② 日本書紀 ③ 風土記 ④ 古事記
- 5 弥生時代に導入された金属器のうち、硬度が高く、刃先などの実用的な道具として生産力の向上に貢献したものを何という？
① 木器 ② 鉄器 ③ 青銅器 ④ 石器
- 6 弥生時代、奴国の使者が金印を授かった、当時の中国の王朝を何という？
① 隋 ② 魏 ③ 後漢 ④ 前漢
- 7 縄文土器と比べて薄く作られ、煮炊きに適していたのはどのような温度で焼かれたから？
① 乾燥 ② 多湿 ③ 低湿 ④ 高温
- 8 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？
① 稲作 ② 採集 ③ 漁労 ④ 狩猟
- 9 古代中国の記録などを通じて、当時の日本（倭）の状況を知ることができる資料のうち、出来事や制度を記録した書物を何という？
① 法典 ② 地理書 ③ 歴史書 ④ 随筆
- 10 『後漢書』東夷伝などの歴史書において、弥生時代の日本列島に多数存在していたとされる政治的なまとまりを何という？
① 倭国 ② 邪馬台国 ③ 奴国 ④ 小国
- 11 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？
① 菜畑遺跡 ② 吉野ヶ里遺跡 ③ 登呂遺跡 ④ 唐古・鍵遺跡
- 12 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？
① 九州地方 ② 近畿地方 ③ 東北地方 ④ 中国地方
- 13 江戸時代に金印が発見されたと伝えられている、現在の福岡県にある島は何という？
① 種子島 ② 壱岐 ③ 対馬 ④ 志賀島
- 14 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？
① 木器 ② 金属器 ③ 土器 ④ 石器
- 15 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使者を送ったとされる女王は誰？
① 推古天皇 ② 神武天皇 ③ 卑弥呼 ④ 聖徳太子



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	光武帝 は、57年に九州の奴国から訪れた使者に対し、朝貢の返礼として金印を授けました。		4 光武帝	☐
2			3 邪馬台国	☐
3	鉄は青銅よりも硬く丈夫であるため、刃先として農具（鋤・鍬）や武器（剣・矛・鏃）などに加工されました。		2 鉄器	☐
4	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『 魏志倭人伝 』と呼ばれます。		1 魏志倭人伝	☐
5	鉄器 は主に農具の刃先や、武器としての剣や矛などに加工されました。		2 鉄器	☐
6	57年、九州の奴国の使者が中国の王朝である 後漢 の皇帝を訪れ、朝貢を行いました。		3 後漢	☐
7	高温 で焼くことで強度が上がり、煮炊きに適した薄い土器を大量に作ることができました。		4 高温	☐
8	稲作 が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。		1 稲作	☐
9	『後漢書』や『魏志倭人伝（三国志）』などが代表的な 歴史書 です。		3 歴史書	☐
10	当時の日本は「百余りの 小国 」に分かれていたと『後漢書』などに記されています。		4 小国	☐
11	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。		2 吉野ヶ里遺跡	☐
12	青銅器の中でも、銅剣・銅矛は九州北部を中心とする西日本に、銅鐸は近畿地方を中心に多く出土し、文化圏がはっきり分かれていました。		1 九州地方	☐
13	福岡県の 志賀島 で、農作業の最中に石の間から金印が発見されたと伝えられています。		4 志賀島	☐
14	金属器 には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。		2 金属器	☐
15	卑弥呼 は「鬼道」と呼ばれる呪術を用いて人々を統治した女王です。		3 卑弥呼	☐

言えなかった用語ノート